第２学年　　道徳科学習指導案

１　主題名　やりぬいて　　A―５希望と勇気、努力と強い意志

２　資料名　黒板が　にっこりするかな（出典　光村図書「どうとく　きみがいちばんひかるとき」）

３　本時の指導

（１）ねらい

黒板係の仕事に取り組む「ぼく」の姿を通して、がんばって何かをやり遂げるとどんな気持ちになるかを考えさせ、自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行おうとする実践意欲と態度を育てる。。

（２）準備

　　　教師：挿絵・交流ボード・付箋

（３）指導過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 時間 | 学習活動と主な発問 | 形式 | 支援及び指導上の留意点 |
| 導入 | 3分 | １　クラスで何の係をしているか、どんな仕事をしているか、発表し合う。  ○クラスでどんな係をしていますか。発表しましょう。  ・わたしは、本係をしています。毎日、本の整頓をしています。 | 一斉 | ・自分のやるべき仕事に目を向けさせ、教材を自分との関わりでとらえさせる。  かんがえよう  　がんばって何かをやりとげると、どんな気もちになるでしょう。 |
| 展開 | 7  分  20分  10  分 | ２　「黒板がにっこりするかな」を読んで話し合う。  （１）黒板係の仕事は「たいへん」なのに「ぼく」が、頑張ってやっているのはなぜでしょう。  ・黒板がきれいになると気持ちがいいから。  ・黒板を拭くのがおもしろいから。  ・先生やみんながにこにこ笑ってくれてうれしいから。  ・黒板係は大変だけど、がんばってよかったなあ。  （２）先生やみんながにこにこ笑ってくれたとき、「ぼく」はどんなことを考えていたでしょう。  ・しっかりがんばると、そのときは大変だったけど、やり終わると気持ちがいいなあ。  ・先生やみんなが、にこにこしてくれて、うれしいな。  ・黒板がきれいになって、みんなもよろこんでくれてうれしいな。  ３　自分がクラスの中でしている仕事の、楽しいところや大変なところ、やりとげたときの気持ちを発表し合う。  ・ぼくの係は、電気係です。電気を消したりつけたりするのは楽しいけど、教室をいどうするときに消し忘れそうになって大変です。でも、エコに役立ちみんなのためになると思うとうれしい気持ちになります。 | 一斉  個人  ↓  班  ↓全体  一斉  個人  ↓  一斉 | ・「ぼく」が感じている黒板係の仕事の意義を捉えさせる。  ・黒板係の仕事は、上のほうは届かなかったり、黒板消しもきれいにしなくてはならなかったりと、大変であることを、押さえておく。  ・日直の時、黒板消しの仕事をした経験を思い起こさせる。  ・「先生やみんながにこにこ笑っていたのは、どうしてでしょう。」と問いかけ、黒板係の仕事の意義を、周りの人の視点から捉えさせる。そのうえで、周りの人の笑顔を見て「ぼく」が考えていたことについて考えさせる。  ・個人の考えを付箋に書かせ、ボードに貼って考えを紹介・交流させる。  ・グループで話し合って考えをまとめさせる。  ・班で話し合ったことを全体の場で交流させる。  ・ワークシートに書いた後、発表させる。  ・自分のやるべき仕事について、その大切さや楽しさを見つめさせる。  ・これまでに取り組んできたことについて、どのような姿勢で取り組んできたかなと、自分を見つめさせる。  評価  がんばって何かをやり遂げると、どんな気持ちになるかを、自分との関わりで考えることができているか。  （ワークシート） |
| 終末 | 5  分 | ４　本時の振り返りをする。  　「学びの記録」を開いて、今日の学習を振り返る。 | 個人 | ・本時を振り返り、当てはまる箇所に記しを残す。 |